

学校法人 鴨江寺学園
鴨江幼稚園令和 8 年度事業計画案

1 法人の概要

- 建学の精神 本園は、釈尊の説かれた「法を灯明とし、自らを灯火とせよ」の、幡を掲げています。
 本園は、先哲の流れを現代に生かし、体は野性的に！ 心豊かに！知能は文化人に！と、3 拍子揃った教育を基本としています。
 宇宙的広がりの中で、子どもたちが自己実現できる人間に成長し、感謝と努力を胸に、世界で創造・調和・貢献できる人間となるための土台作りに励んでいます。
 我々は、より良い未来を創るために、PTAの三者が共に喜びあえる集団であることを念じています。
- 設立の経過 昭和 25 年 3 月 14 日 宗教法人鴨江寺 鴨江幼稚園設置認可
 昭和 58 年 6 月 30 日 学校法人化への設置者変更申請
 昭和 58 年 7 月 28 日 学校法人鴨江寺学園認可
 現在に至る
- 設置する学校 鴨江幼稚園
- 園則定員

3才児	140 人	5 クラス
4才児	140 人	4 クラス
5才児	140 人	4 クラス
420 人		
- 園児予定数

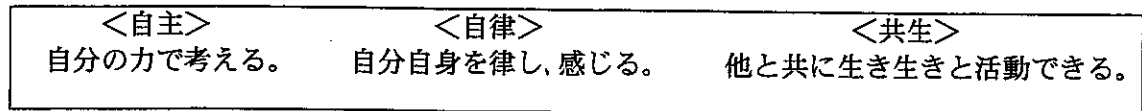
3才児	60 人	4 クラス
4才児	60 人	3 クラス
5才児	70 人	3 クラス
190 人		
- 役員・教職員の概要

理事	6 人
評議員	10 人
監事	2 人
教職員	30 人

2 事業の概要

- 当該年度の事業の概要
 別紙 年間予定表

○ 当該年度の主な事業の目的・計画



↓

人間の土台を育む年間カリキュラムを実践する。

○ 園と園児と家庭で共通の、園児の個人目標をたて、達成するために家庭と園が連絡を密にする。

○ 子どもの安全対策

- | | |
|-------------|---|
| ・園児の健康管理 | － R8年5月・6月 内科・歯科検診実施予定 |
| ・部外者への侵入対策 | － R9年1月 防犯訓練実施予定 |
| ・園内での事故防止対策 | － 週1回 遊具総点検予定 |
| ・交通事故防止対策 | － R8年6月・R9年1月 交通安全教室実施予定 |
| ・施設設備の点検 | － 電気・エレベーター隔月点検委託実施予定、
月初め施設設備自主点検実施予定 |
| ・地震対策 | － R8年5・9・10・12 R9年3月 地震避難訓練実施予定 |
| ・火災予防対策 | － R8年6・8・11 R9年2月 火災避難訓練実施予定 |

<教育要領実施項目>

I 健康

1. 行動と充実感
・体育ローテーション・オプネット英語
2. 運動
・体育ローテーション・マラソン・ヤマスポーツ・運動会
3. 健康・安全
・薄着の励行・防災避難訓練（保健安全計画別途記）・交通安全教室
・日常生活の中での感染症対策

II 人間関係

1. 自分の力で行動する充実感
・S I あそび・制作活動・園外保育・ゲーム遊び
2. 人とのかかわり
・お店屋さんごっこ・遠足・盆踊り・誕生会・ヒッポ
3. 社会性
・朝礼・基礎活動・給食当番・一泊保育

III 環境

1. 自然とのふれあい
・園外保育・遠足・じゃが芋、さつま芋掘り栽培
2. 身近な環境に自分からかわる
・園内遊び・花まつり・青葉祭・七夕・クリスマス・節分・涅槃会
・じゃが芋、さつま芋蒸し・餅つき
3. 身近な事象の中で数、文字の感覚を豊かにする
・タイルあそび・モンテ・絵日記・かるた

Ⅳ 言 葉

1. 自分の気持ちを言葉で表現する
・当番活動・生活発表会・劇遊び
2. 言葉で伝え合う喜びを味わう
・言語発表の時間・ごっこあそび・ヒッポ
3. 日常会話を習得し、まわりの人と心を通わせる
・絵本、紙芝居の読み聞かせ・ごっこ遊び

Ⅴ 表 現

1. 美しさに対する豊かな感性
・絵画・BGM・MS・読詩
2. 自分なりに表現する
・劇遊び・リトミック・絵画制作・MS・発表会
3. イメージを豊かにし表現を楽しむ
・ライゲン・エポック・リトミック・作文・発表会

以 上

令和 8 年 2 月 20 日

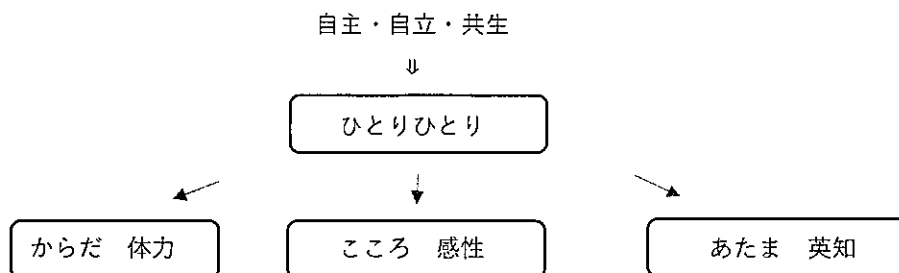
学校法人鴨江寺学園

理事長・園長 建部 仁洋

鴨江幼稚園 2026年度 教育内容に関する計画

教育理念	体は野性的に！！	心豊かに！！	知能は文化人に！！	教育目標	1. 健康・安全のための基礎体力のある子ども。 2. 基本的な生活習慣を身に付け積極的に、自分で考え、行動できる子ども。 3. まわりの人々の愛を理解し、物事や社会への好奇心と大自然・目に見えない偉大なものへの畏敬の念を持てる子ども。 4. 豊かなことばの獲得・表現ができる子ども。 5. 自分のことは自分でためそうとする子ども。 6. ケンカもするけど、みんなと友達になれる子ども。 7. 「ありがとう」「ごめんなさい」が素直に表現出来る子ども。			
	より豊かな感覚、より確かな体力や運動能力、そして健康や安全に対する防衛体力や生活習慣を身に付けます。	豊かな心・豊かな表現力・感性豊かな人間性の基礎作りをします。また、情緒の安定につながるよう配慮します。	一人一人が主体的に、いきいきと生きる為に、脳をより高めより活性化させます。					
教育方針	適期教育	個を育てる	仲間づくり	各年齢別教育目標	満3歳児：好きな遊びを見つけ、友だちと関わりながら遊び、園生活に慣れる。 3歳児：いろいろな活動の中で教師や友だちとの遊びや生活の楽しさを持てる。 4歳児：園生活を充分楽しみ、集団の生活の中でひとりひとりが自己発揮出来るようになる。 5歳児：自ら考え、自ら取り組む意欲を持つ。子ども同志で主体的に、生活やあそびを繰り広げられるようになる。			
	幼児の種々の発達時期に、幅広い分野にわたる最も適切な環境と方法で、適期教育を行います。五感を通して、心豊かに育みます。	幼児一人一人の人格を尊重します。集中没我して物事に取り組む中から、自ら豊かな個性を輝かせます。	両親から得た人間信頼の上に幼稚園において、多くの友人と交わり、より良い人間関係を作る能力を培います。					
主な行事	<一学期> ○入園式 ○始業式 ○親子遠足 ○参観会 ○個人面談 ○交通安全教室 ○じゃが芋祭り ○年中お楽しみ会	<二学期> ○始業式 ○土曜参観会 ○運動会 ○おまつり ○じゃが芋祭り	<三学期> ○始業式 ○交通安全教室 ○参観会 ○ひな祭り ○お祭り ○修了式	配慮すべき事項	健康支援 ○健康及び発達状況の定期的・継続的な把握(隔月1回の身体測定実施) ○年2回の嘱託医による健康診断(内科・歯科) ○視力検査 ○4歳児・年長新園児の心電図検査	環境・衛生・安全管理 ○施設内外の設備・用具の清掃及び消毒 ○施設内外の設備・用具の安全管理及び自主点検 ○毎月1回避難訓練実施(火災・地震・不審者対応) ○警察署指導による交通安全	子育て支援 ○ひよこクラブ(週1回) ○チャイルドクラブ(週1回) ○園庭開放 ○育児相談 ○入園のしおり・パンフレット配付	特色のある教育 ○体育ローテーション ○シユタイナー教育 ○OMS(音楽教育) ○モンテッソーリ教育 ○石井式教育法 ○基礎活動 ○SIあそび ○外部講師による特別教育(体育・英語)
	内 容							
教育課程	領域	満3歳児	3歳児	4歳児	5歳児	ね ら い		
	健康	○運動、指先の機能の発達 ○排泄の確立 ○自ら食べる意欲	○意欲的な活動 ○基礎体力作り ○基本的な生活習慣の確立	○健康への関心 ○体全体の協応運動	○健康増進とさらなる挑戦への意欲 ○安全で安定感のある行動	①明るく伸び伸び行動し、充実感を味わう。 ②自分の体を十分に動かし、進んで運動しようとする。 ③健康、安全な生活に必要な習慣や態度を身に付ける。		
	人間関係	○自己主張の表出 ○友だちとのかかわりの増大 ○思い通りにならない事への葛藤体験	○自分でしようとする意思 ○道徳性の芽生えと平行遊びの充実	○仲間との深いつながり ○相手の思いへの気付き	○社会性の確立と自立心の育成 ○自分で考え自分で行動 ○友だちとの共感	①幼稚園生活を楽しみ、自分の力で行動することの充実感を味わう。 ②身近な人と親しみ、かかわりを深め、愛情や信頼感を持つ。 ③社会生活における望ましい習慣や態度を身に付ける。		
	環境	○室内外の環境への積極的な関わり ○戸外遊びやお散歩での季節の気付き	○身近な環境への積極的な関わり ○身近なものを大切にすること	○異年齢児への関心の高まり ○工夫して遊ぶ楽しさ ○文字や数の獲得による遊び	○社会、自然現象へのさらなる関心と生活への取り入れ ○ものの性質や仕組みへの興味と関心 ○数量・図形・文字への関心	①身近な環境に親しみ、自然と触れ合う中で様々な事象に興味や関心を持つ。 ②身近な環境に自分からかかわり、発見を楽しんだり、考えたりし、それを生活に取り入れようとする。 ③身近な事象を見たり、考えたり、扱ったりする中で、ものの性質や数量、文字などに対する感覚を豊かにする。		
	言葉	○言葉のやりとりの楽しさ ○日常の挨拶への親しみ	○言葉の面白さ、楽しさへの気付き ○生活の中での必要な言葉への理解と使用 ○絵本への親しみ	○伝える力、聞く力の獲得 ○文字の獲得による遊び ○積極的な絵本への親しみ	○伝える力、聞く力の獲得 ○文字の獲得による遊びの発展 ○体験によるイメージや言葉のひろがり	①自分の気持ちを言葉で表現する楽しさを味わう。 ②人の言葉や話などをよく聞き、自分の経験したことや考えたことを話し、伝え合う喜びを味わう。 ③日常生活に必要な言葉が分かるようになるとともに、絵本や物語などに楽しみ、保育者や友だちと心を通わせる。		
	表現	○象徴機能の発達とイメージの膨らみ ○音、色、形、手触り動きを感じる楽しさ	○自由な表現と豊かな感性の育ち ○感動体験を伝え合う楽しさ	○豊かな感性による表現 ○心を動かす出来事による想像力と感性の獲得	○ダイナミックな表現 ○感動の共有 ○体験を通じた表現	①いろいろなものの美しさなどに対する豊かな感性を持つ。 ②感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。 ③生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ。		
研修計画	OMS園内研修(年3回) OMI園内研修 O園外研修への参加				自己評価	O自己チェックリストの実施 O保護者のアンケート		

1. 教育理念



2 (1) 教育目標

子どもが遊びや学習に参加しながら、自主・自律・共生を身につけた人間に成長することを援助する。

- ① 健康・安全のための基礎体力のある子ども
- ② 基本的な生活習慣を身につけ積極的に自分で考え、行動できる子ども
- ③ まわりの人々の愛を理解し、物事や社会への好奇心と大自然・目に見えない偉大なものへの畏敬の念を持てる子ども
- ④ 豊かな言葉の獲得・表現ができる子ども
- ⑤ 自分のことは自分で試そうとする子ども
- ⑥ ケンカもするけど、みんなと友だちになれる子ども
- ⑦ 「ありがとう」「ごめんなさい」が素直に表現できる子ども
- ⑧ 「やamaiか!」と、何事にも一生懸命取り組む子ども

(2) 保育目標

- ①一人ひとりへの十分な愛情を示し、愛着関係をつくる、過ごしやすい環境を整える
- ②思春期を見通しての基本的信頼関係の基礎を築く

3. 利用定員

利用定員	年齢区分	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
	1号	-	-	-	3	3	3	9
	2号・3号	9	15	24	24	24	24	120
	合計	9	15	24	27	27	27	129
4/1入所数	年齢区分	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
	1号	-	-	-	3	1	3	7
	2号・3号	9	11	24	24	24	24	116
	合計	9	11	22	27	25	27	123

4. 職員数

4月1日現在	園長	副園長	主幹保育教諭	保育教諭	栄養士	調理	事務	用務員	合計
常勤	1	1	2	15	1	-	2	-	22
非常勤	-	-	-	10	-	4	-	1	15
合計	1	1	2	25	1	4	2	1	37

5. 年間目標

0 歳児

- 安全で落ち着いた雰囲気の中で保育者との信頼を築き情緒の安定を得る。
- 保育者に援助されながら食事・睡眠・排泄など基本的な生活習慣を身に付け徐々に「やっ」という気持ちを持つ。
- 発達に応じた環境の中でいろいろな体験を重ねて身体および感覚の機能が伸びていく。

1 歳児

- 保育者と安定した関わりのなかで、自分の気持ちや欲求を表せるようになる。
- 自分でしようとする気持ちを持ち、少しずつできるようになる。
- 探索活動を通して、十分に聞く、見る、触れるなどの経験をし、人や物への関心を広げる。
- 保育者に援助されながら、基本的な生活習慣の基礎が見につく。

2 歳児

- 安全で保健的な環境の下、安心感を持って過ごす。
- 生活に必要な身の回りのことが自らできるようにする。
- 自己主張や欲求を受容・共感されることにより、自己肯定感を育む。
- 共感や共有する体験を通し、友だちとのかかわり方を知っていく。
- 日常の環境を通して、様々な素材の音・色・数・形・手触り・味・香りなどに触れていく。
- 見立て遊び・ごっこ遊びなどを通し、象徴機能や想像力を育む。
- 活動範囲が広がるとともに、歩く・走る・跳ぶなどの基本的な運動機能や指先の機能が充実していく。

3 歳児

身近な仲間や様々な環境と積極的にのかかわり、意欲を持って活動する。

- 基本的な生活習慣を身に付け、自信を持って楽しく園生活を送る。
- 友だちとのかかわりを広げ、存分に遊びを楽しむ。
- 身近な環境に関心を持ち、積極的に関わる。
- 生活の中で必要とする言葉を知り、身近な人との言葉のやり取りを楽しむ。
- 自由な表現を楽しみ、豊かな感性を育む。

4 歳児

- 積極的にいろいろな活動に取り組み、日常生活に必要な習慣や態度を身に付ける。
- 全身を動かして遊ぶ楽しさを味わい、様々な遊びに興味を持ち、保育者や友だちとのかかわりを広げる。
- 遊びの経験を広げ、いろいろな方法で表現する。
- 身近な環境や自然事象に興味・関心を持ち、発見を楽しんだり、考えたりして生活に取り入れる。
- 多種多様な経験を通して、生活に必要な言葉を身に付ける。

5 歳児

集団の中で自立的・自主的に活動し、意欲的に体験を積み重ねる。

- 園生活を楽しみながら、主体的に活動し、基本的な生活習慣や態度を身に付ける。
- 友だちと様々な体験を重ねる中で自分の気持ちを調整し、友だちと折り合いをつけながらきまりを作ったり守ったりする。
- 身近な環境や自然事象に興味・関心を持ち、意欲的に取り組むとともに、感性を豊かにし、探究心や知的好奇心を高め、様々な表現力を身に付ける。
- 保育者や仲間とのかかわりの中で、相手の話をよく聞き、意見交換をする力をつける。
- 生活の中で充実感や満足感を持ち、自分のやりたいことに向かって心と体を十分に働かせ見通しを持って健康で安全な生活を送る。

6. 年間行事

4月 入園式 災害ダイヤルテスト
 5月 園外保育（4・5歳児） 奉仕作業 内科検診
 6月 奉仕作業 視力検査（3歳児以上） 歯科検診 味噌づくり（父母の会）
 7月 セタまつり 園外保育（3・4・5歳児） なつまつり
 8月
 9月 お月見会 発表会 災害ダイヤルテスト
 10月 内科健診
 11月 視力検査 運動会 奉仕作業 ハロウィン
 12月 奉仕作業 月組遠足 クリスマス会 もちつき
 1月 個展
 2月 豆まき
 3月 ひなまつり 卒園式 園外保育
 ※ 毎月：防災訓練 身体測定 親子ひろば（園庭開放 週1回）
 ※ 園内外の研修参加

7. 利用定員ごとの提供する日及び時間

1号認定子ども（教育標準時間認定）

提供する曜日	月曜日から金曜日まで	
保育時間	教育標準時間	9:00～13:00
預かり保育	保育時間	7:00～9:00
		13:00～19:00
		土曜日 7:00～18:00

2号・3号認定子ども（保育標準時間認定・保育短時間認定）

提供する曜日	月曜日から土曜日まで	
保育時間	保育標準時間	7:00～18:00
	保育短時間	8:00～15:00
延長保育	保育標準時間	18:00～19:00
	保育短時間	7:00～8:00
		16:00～19:00
開所時間	月曜日から土曜日	7:00～19:00（土曜日18:00）

きなりこどもえん 2026年度 教育及び保育の内容に関する全体的な計画

事業の目的	全ての子どもに認定こども園法に基づいて、乳児及び幼児の教育及び保育事業を行うこと							
事業運営方針	教育・保育に関する専門性を有する職員が家庭との緊密な連携の下、園児の状況や発達過程を踏まえ、教育及び保育を一体的に行うように努めます。							
教育理念	身体は野性的に！心豊かに！知能は文化人！と三拍子そろった教育を基本とし、子どもが自主・自律・共生を身につけた人間に成長するための教育							
●2・3号認定：基本保育時間→7:00(8:00)～18:00(16:00) 半延長保育時間→18:00～19:00 ●1号認定：教育時間 →9:00～13:00					年齢別の子どもの教育及び保育目標 (保育目標・保育の内容ともに年間指導計画の基礎事項・年間指導計画・行事は別紙) 主な行事 (自費の負担としての行事費) ●入園式 ●保育参観 ●セツまつり ●夏まつり ●お月見会 ●運動会 ●発表会 ●クリスマス会 ●餅つき ●まめまき ●園展 ●ひなまつり ●卒園式			
教育・保育要領上の教育及び保育の基本及び目標	発達過程とクラスの相関性	幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿 保育5領域との整合性	家庭との連携	小学校への接続・連携	地域の実態に対応した保育事業と行事への参加（社会貢献）			
教育・保育の基本については要領の4つの事項を重視する。目標は生活を通して、生きる力を育成するように認定こども園法第9条に規定する教育及び保育の目標の達成に努める。	0～5歳児クラス 計6クラスで保育をする。幼児発達型認定こども園を鑑み、教育・保育要領に基づいた年間指導計画を作成する。	教育・保育要領の第2章のねらい及び内容並びに配慮事項を鑑み、各領域が示す目的に沿って教育及び保育がなされるようにする。「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」は、自発的な活動としての遊びを通じて、一人ひとりの発達の特性に応じ、5歳児後半に見られるような具体的な姿としてとらえる。	園児の生活全体を豊かにするために家庭との連携を密に図る(連絡ノート・参観会・個人面談の実施)。家庭調査等による状況把握。園の情報提供による情報の共有。れんらくアプリ・インスタグラム等による保育の説明。	●5歳児、入学期小学校の把握と連絡 ●1年生授業参観 ●5歳児 授業参観と小学校の施設探検 ●指導要録の送付	●長時間保育体制により、乳児保育を含んだ3歳未満児の受入推進と延長保育の対応 ●実習生の受け入れ ●中高生保育体験の受け入れ ●オープン保育での学生の受け入れ ●一時預かりの受け入れ			
特色のある教育と保育	●モンテッソーリ教育推進 ●毎日の体力作り ●障害 ●つながり遊び ●絵日記活動(5歳児) ●外野講師による特別教育(体操・英語・リトミック) ●園児絵本の導入。							
保育目標及び保育方針	年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	
	生命の保持	●生理的欲求の充実を図る	●生活リズムの形成を促す	●適度な運動と休息の充足	●健康的な生活習慣の形成	●食欲・意欲の促進	●健康・安全への意識の向上	人権尊重・虐待確認保護・個人情報保護・苦情処理解決第三者委員設置 半幼保連携型認定こども園教育・保育要領 第1章 総則 第3～4 (1) ア～エ、(2) ア～エ参照
	情緒の安定	●広容的な触れ合い ●情緒的な絆の形成	●温かなやりとりによる心の安定	●自我の育ちへの受容と共感	●主体性の育成	●自己肯定感の確立と他者の受容	●心身の調和と安定による自信への導き	
	ねらい及び内容(満3歳以上は、教育課程に係る)1日4時間半39週を下らない学校教育+その他の教育及び保育							
	領域	教育及び保育(※教育・保育要領 第1章 総則 第2-4参照)		教育及び保育(※参照)		教育及び保育(教育課程に係る教育時間含む)		
健康	●身体機能の発達	●歩行の確立による行動範囲の拡大	●排泄の確立 ●運動・指先の機能の発達 ●自ら食べる意欲	●意欲的な活動 ●基礎体力作り ●基本的な生活習慣の確立	●健康への関心 ●身体全体の協調運動	●健康増進とさらなる挑戦への意欲 ●安全で安定感のある行動	① 明るく伸び伸びと行動し、充実感を味わう。 ② 自分の体を十分に動かして、進んで運動しようとする。 ③ 健康、安全な生活に必要な習慣や態度を身に付け、見通しを持って行動する。	
人間関係	●特定の大人との深いかわりによる愛着心の形成	●周囲の人への興味・関心の広がり	●自己主張の表出 ●友だちとのかわりへの増大 ●思いとおりにならないことへの葛藤経験	●自分でしようとする意志 ●道徳性の芽生えと平行遊びの充実	●仲間との深いつながり ●相手の思いへの気付き	●社会性の確立と自立心の育成 ●自分で考え自分で行動 ●友だちとの共感	① 幼保連携型認定こども園の生活を楽しく、自分の力で行動することの充実感を味わう。 ② 身近な人と親しみ、かわかりを深め、工夫したり一緒に活動する楽しさを味わい、愛情や信頼感を持つ。 ③ 社会生活における望ましい習慣や態度を身に付ける。	
環境	●身近な環境への興味を持つ	●好奇心を高める	●室内外の環境への積極的なかわり ●戸外あそびやお散歩での季節の気付き	●身近な環境への積極的なかわり ●身近なものを大切にすること	●異年齢の友だちへの関心の高まり ●工夫して遊ぶ楽しさ	●社会、自然事象へのさらなる関心と生活への取り入れ ●ものの性質や仕組みへの興味と惑心 ●数量、図形、文字、標識への興味	① 身近な環境に親しみ、自然と触れ合う中で様々な事象に興味や関心を持つ。 ② 身近な環境に自分からかわかり、発見を楽しんだり、考えたり、それを生活に取り入れようとする。 ③ 身近な事象を見たり、考えたり、振ったりする中で、ものの性質や数量、文字などに対する感覚を豊かにする。	
言葉	●喃語の育みと応答による言葉の芽生え	●言葉の獲得・話し始め	●言葉のやりとりの楽しさ ●日常の挨拶への親しみ	●言葉のおもしろさ、楽しさへの気付き ●生活の中での必要な言葉の理解と使用 ●絵本への親しみ	●伝ええる力・聞く力の獲得 ●文字や数字の獲得による遊び ●絵本(漢字)への親しみ	●伝ええる力、聞く力の獲得 ●文字や数字の獲得による遊びの発展 ●体験によるイメージや言葉の広がり	① 自分の気持ちや言葉で表現する楽しさを味わう。 ② 人の言葉や絵などよく聞き、自分の経験したことや考えたことを話し、伝え合う喜びを味わう。 ③ 日常生活に必要な言葉が分かるようになってくると、絵本や物語などに親しみ、言葉に対する感覚を豊かにし、保育教諭等や友だちと心を通わせる。	
表現	●純粋な感情の表現	●いろいろな素材を楽しむ	●表現機能の発達と、イメージの膨らみ ●音、色、形、手触り、動きを感じる楽しさ	●自由な表現と豊かな感性の育ち ●体験や感動を伝える楽しさ	●豊かな感性による表現 ●心を動かす出来事による想像力と感性の獲得	●ダイナミックな表現 ●感動の共有 ●体験を通じた表現	① いろいろなもの美しさなどに対する豊かな感性を持つ。 ② 感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。 ③ 生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ。	
食育	食育の推進	●子どもたちから見える厨房 ●菜園での野菜作り(2歳児～)り(献立)キッチンだより(食育)の発信 ●サンプル食の提示 ●ダイニングルームでの食事(3歳児～) ●クッキングの実施(2歳児～) ●栄養バランスを考えた自園給食の提供 ●全国児へ炊きたて米飯の提供 ●離乳食(後期食・完了食)の提供 ●アレルギー食の対応 ●行事食の提供 ●給食だよ						
個別発達支援	●配慮を必要とする園児の実態把握を行うとともに、個別の指導計画を作成する。 ●全職員で配慮を必要とする子どもの共通理解を深める。 ●療育施設や保育支援課と連携し、配慮を必要とする子どもの共通理解を図る。 ●園での子どもの様子を随時知らせ、保護者の理解や協力のもと支援を進めていく。							
健康支援	●健康及び発達課題の定期的、継続的な把握(月1回の身体測定実施) ●毎月の検便(栄養士・調理員・未測定担当保育者・事務所内保育者) ●年2回の嘔吐区による健康診断(内科・歯科) ●年2回の視力検査(3歳児以上) ●登園時及び保育中の状態観察や検温、またその際に異常が認められた場合、保育中の怪我への適切な対応 ●年1回職員健康診断(全職員) ●毎月の検便(栄養士・調理員・未測定担当保育者・事務所内保育者)							
環境衛生・安全管理	●施設内外の設備、用具等の清掃及び消毒、子ども及び職員の清潔保持 ●施設内外の設備、用具等の安全管理及び自主点検(害虫有無点検を含む) ●ヒヤリハットの共有と改善 ●感染症予防策指針の作成と実施及び保護者との情報共有 ●インフルエンザ等感染症への対応 ●年1回外郭業者による点検及び園庭整備 ●毎月避難訓練(火災、地震、不審者対応)の実施 ●被災時における対応と備蓄 ●浜松市健康づくり課によるフッ素塗料塗布実施及び「口を育む教室」の実施 ●消防署の指導による消火訓練の実施及び消防署査査 ●外郭業者による園舎及び園庭整備(幹木削)、消防設備点検(特防火災)、エレベーター点検(三菱電機)、厨房点検(ホシザキ)、ゴミ収集(ミダック)、警備(セコム)、衛生指導(オーケーユー) ●警察署の指導による安全教室の実施							
子育ての支援	●入園のしおり・パンフレットの配布 ●保護者との連絡協力 ●こども園紹介事業(ホームページ・Instagram) ●月1回の親子ひろば「むく」 ●毎週の園庭(ホール)開放、育児相談							
教育及び保育の基盤と組織	基本(1)活動体験を十分に積み重ねる (2)養護による自己発達の考慮し、乳幼児期にふさわしい生活の展開 (3)遊びを通じた指導を中心として5領域のねらいを達成 (4)園児一人一人の発達に即した指導→保育教諭の計画的な環境構成 目標:認定こども園法第9条の目標達成に努める							
研修計画	●教育・保育要領対応の園外・園内研修 ●モンテッソーリ教育の園外研修 ●新人研修 ●園外研修への参加(乳幼児研修、発達障がい児研修、わらべうた等)							
自己評価	●法人による適切な施設運営管理の評価 ●こども園の評価(全体の反省による計画・教育課程への反映) ●保育教諭等の評価(自己評価と子どもの評価の確立) ●自己チェックリストの実施と危機管理マニュアルの作成、習得 ●第三者評価の理解 ●保護者のアンケート							

令和 8 年度

役員名簿

理事		選任 区分
1	建部 仁洋	園長
2	建部 宥快	評議員会 学識者
3	吉澤 俊道	評議員会 学識者
4	大谷 純應	評議員会 学識者
5	鈴木 俊徳	評議員会 学識者
6	堀口 憲昭	評議員会 学識者
評議員		選任 区分
1	大谷 智子	評議員会 学識者
2	吉澤 祥道	評議員会 学識者
3	細倉 泰生	評議員会 学識者
4	堀口 るり子	評議員会 学識者
5	露木 利行	評議員会 学識者
6	林 健一	評議員会 卒業
7	鈴木 好美	評議員会 卒業
8	田中 佳奈	評議員会 職員
9	佐々木しのぶ	評議員会 職員
10	林 弘光	評議員会 職員
監事		
1	家近 快泉	評議員会 学識者
2	鈴木 昭演	評議員会 学識者